



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月9日 東

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所  
 コード番号 3658 URL <http://corp.ebookjapan.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 斉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯江 英子 (TEL) 03 (3518) 9544  
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績 (平成27年2月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	1,330	—	10	—	11	—	△2	—
27年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年1月期第1四半期 3百万円(—%) 27年1月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	△0.53	—
27年1月期第1四半期	—	—

(注) 1 平成28年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載していません。

2 平成27年1月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成27年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第1四半期	4,042	2,647	64.7
27年1月期	3,604	2,162	59.3

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 2,615百万円 27年1月期 2,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想 (平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000 ～7,000	17.0 ～36.5	△200 ～100	—	△200 ～100	—	△128 ～80	—	△27.85 ～17.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Find Japan株式会社、除外 1社(社名) —

- (注) 1 当第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社を子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、Find Japan株式会社は、特定子会社に該当しております。  
2 特定子会社の異動には該当しませんが、フォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期1Q	5,344,800株	27年1月期	4,810,400株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	200,000株	27年1月期	200,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期1Q	4,658,436株	27年1月期1Q	4,584,861株

- (注) 当社は、平成27年4月23日に第三者割当による新株発行を行っております。期中平均株式数につきましては、増加株式数を反映させて算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、Find Japan株式会社の決算日である平成27年3月31日をみなし取得日とし、第1四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第1四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

また、当第1四半期連結会計期間より重要性が増した、フォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。連結の範囲の変更に伴う当該子会社の非連結期間の損益は、利益剰余金の増減としております。

さらに、従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適正な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減としております。

なお、当社は、前第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策を背景とした企業収益や雇用情勢の改善に加え、原油価格下落の影響もあり、緩やかながら回復基調で推移しました。

一方、電子書籍を取り巻く環境は、依然として競争が厳しいものの、スマートフォンやタブレット端末の成長を背景に引き続き市場成長が継続しております。

当社グループは、このような事業環境のもと、世界の主要言語圏に日本マンガを電子で届け、グローバル市場における電子書籍の売上高No. 1を中期のテーマに掲げ、電子書籍を中心に事業領域を拡大してまいりました。同時にシステム及び組織・人材への投資を積極的に行い、将来の成長を加速させる基盤整備に努めました。

以上の取り組みを行った結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,330,600千円、営業利益10,852千円、経常利益11,326千円、四半期純損失は2,480千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結累計期間より、事業セグメントの名称を「プロモーション・その他事業」から「クロスメディア事業」へ変更しております。

#### ①電子書籍事業

##### a. 電子書籍配信

当第1四半期連結累計期間は、一般書籍、雑誌などを中心に冊数が拡大し、累計で37万冊を超える取り扱いとなり、平成27年4月末時点のラインナップは370,850冊（内訳：男性漫画63,050冊、女性漫画63,400冊、総合図書227,190冊、その他17,210冊）となりました。

当第1四半期連結累計期間は、電子書籍の販売サイト「eBookJapan」を全面リニューアルし、青年・少年漫画、女性マンガ、書籍、雑誌などの各ジャンルへダイレクトに遷移するインターフェース、ジャンル分けされたそれぞれのコーナーにおいて作品のお勧めやキャンペーン情報の提供を充実させ、個々のユーザーの嗜好に沿った店舗へ刷新しました。また、新規会員の獲得にあたっては、eBook図書券を利用した各種キャンペーン、パートナーサイトへの拡販等を行いました。

以上の結果から、当第1四半期累計期間の売上高は、1,083,722千円となりました。

##### b. 電子書籍提供

会員基盤を多く有するパートナーへの電子書籍の提供やキャンペーンにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、66,740千円となりました。

#### ②クロスメディア事業

クロスメディア事業には、スマートフォンアプリを中心とした知育コンテンツをモバイル端末向けに配信するコンテンツ売上のほか、人気マンガコンテンツのキャラクターを用いたタイアップ・プロモーション、パートナーサイトへのウェブコンテンツの提供等による売上が計上されており、当第1四半期連結累計期間の売上高は、180,136千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,042,403千円（前連結会計年度末比438,252千円増）となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,292,144千円（同191,667千円増）、固定資産が750,259千円（同246,585千円増）であります。流動資産増加の主たる要因は、第三者割当増資などにより現金及び預金が249,508千円増加したことによるものです。固定資産増加の主たる要因は、業務システム等の構築により無形固定資産その他が135,989千円、子会社の超過収益力によるのれんが107,016千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,394,404千円（同47,506千円減）となりました。主たる要因は、未払法人税等が77,671千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,647,998千円（同485,759千円増）となりました。主たる要因は、第三者割当増資により資本金が249,832千円、資本剰余金が249,832千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期（平成27年2月1日～平成28年1月31日）通期の業績予想につきましては、平成27年3月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点での修正はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間においてFind Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を平成27年3月31日とし、当第1四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

また、当第1四半期連結会計期間より重要性が増した、フォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。連結の範囲の変更に伴う当該子会社の非連結期間の損益は、利益剰余金の増減としております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適正な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減としております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,429,542	2,679,051
受取手形及び売掛金	525,963	491,673
商品	880	222
仕掛品	38,213	5,984
貯蔵品	13	23
繰延税金資産	48,916	35,377
その他	56,947	79,811
流動資産合計	3,100,476	3,292,144
固定資産		
有形固定資産	88,574	93,148
無形固定資産		
のれん	82,419	189,436
その他	204,290	340,279
無形固定資産合計	286,709	529,716
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,398	11,845
その他	123,991	115,548
投資その他の資産合計	128,389	127,394
固定資産合計	503,673	750,259
資産合計	3,604,150	4,042,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	854,745	920,146
短期借入金	12,000	—
1年内返済予定の長期借入金	34,657	31,718
未払法人税等	80,426	2,754
賞与引当金	6,338	28,662
ポイント引当金	85,735	70,920
その他	326,193	257,955
流動負債合計	1,400,095	1,312,157
固定負債		
長期借入金	38,601	79,021
資産除去債務	3,214	3,225
固定負債合計	41,815	82,247
負債合計	1,441,911	1,394,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,757	776,589
資本剰余金	537,768	787,600
利益剰余金	1,155,881	1,136,013
自己株式	△85,602	△85,602
株主資本合計	2,134,805	2,614,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	669
為替換算調整勘定	395	269
その他の包括利益累計額合計	1,065	939
新株予約権	18,320	20,721
少数株主持分	8,047	11,735
純資産合計	2,162,239	2,647,998
負債純資産合計	3,604,150	4,042,403

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	1,330,600
売上原価	764,174
売上総利益	566,425
販売費及び一般管理費	555,573
営業利益	10,852
営業外収益	
受取利息	68
為替差益	642
不要書籍売却益	41
その他	79
営業外収益合計	832
営業外費用	
支払利息	358
営業外費用合計	358
経常利益	11,326
税金等調整前四半期純利益	11,326
法人税、住民税及び事業税	1,397
法人税等調整額	6,092
法人税等合計	7,489
少数株主損益調整前四半期純利益	3,836
少数株主利益	6,317
四半期純損失(△)	△2,480

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,836
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△209
その他の包括利益合計	△209
四半期包括利益	3,627
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,606
少数株主に係る四半期包括利益	6,234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月23日付で、クックパッド株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が249,832千円、資本準備金が249,832千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が776,589千円、資本剰余金が787,600千円となっております。

また、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結累計期間より決算日を1月31日に変更しております。さらに、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。この結果、期首の利益剰余金が17,386千円減少しております。